

単元名 書きぞめ

配当時間 4時間

単元の目標 (1) 文字の大きさや組み立て方、配列に気を付けて、字形を整えて書くことができる。
(3) 書くときの姿勢に気を付けて、これまでの学習を生かして書こうとする。

標準的な展開例

05020301_001

【教材名】選択課題 『初春』『世界の国』（毛筆）

(P. 44～P. 48)

【準備等】半紙・書き初め用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 行の中心や配列に気を付けて、『初春』か『世界の国』を書く。 ★行の中心や配列に気を付けて、書きぞめを書こう ○用具の置き方や姿勢を知る。</p> <p>○『初春』か『世界の国』のどちらかを選択し、試し書きをする。 ○試し書きと教科書の文字を比較し、気付いたことを話し合う。</p> <p>○半紙や書き初め用紙を縦半分に折り、『初春』か『世界の国』を練習する。</p> <p>○本時のまとめ書きと試し書きを比べ、自己評価・相互評価をさせる。 ○学年、名前の練習をする。</p> <p>3～4 文字の大きさや組み立て方に気を付けて、『初春』か『世界の国』をまとめ書きする。 ★文字の大きさや組み立て方に気を付けて、まとめ書きをしよう ○文字の大きさや組み立て方に気を付けて、毛筆で『初春』か『世界の国』のどちらかを試し書きする。 ○試し書きと教科書の文字を比較する。</p> <p>○練習する。</p> <p>○『初春』か『世界の国』をまとめ書きし、自己評価・相互評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を見ながら、書き初めの姿勢には「床の上で書く姿勢」と「立って書く姿勢」があることを理解させ、本時は立って書くことを伝える。 机を縦に置き換え、書く準備をさせる。上から下に書き進み、書いた部分は前の方に送っていくとよいことを確認する。 教科書の手本を見ながら、毛筆で書かせる。 教科書の上下にある点を線で結ばせ、行の中心を確かめさせる。 それぞれの文字の形に気付かせ、幅が大きい漢字に対し、仮名は小さめであることを押さえる。 字形を整えて書くには、筆圧に注意すると共に強弱のあるリズムカルな運筆で一文字を書き上げることが大切であることを知らせる。 中心線を意識して練習させ、行の中心が取れるようになったら、折らずに書かせる。 『世界の国』の大きさの割り振りがうまくいかない場合は、書き初め用紙を四つに折らせて感覚をつかませる。 大きな下敷きがない場合、用紙を一字ずつずらして書くよう指示する。 行の中心や配列に注意して書くことができたか、自己評価・相互評価をさせる。 位置や大きさに気を付けさせる。 <p>【評】教材の練習を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今まで学習してきたことを思い出しながら、字形を整えて丁寧に書かせる。 文字の組み立て方や行の中心に注意して書けたか確かめさせる。 漢字と平仮名では、漢字の方が少し大きく書くことを再確認する。 4文字の間がほぼ等間隔で空いているか確かめさせる。 点画をつくる筆の動きや筆圧、書く速さを考えながら書けたか確認する。 学年や名前も、大きな文字と同様に、行の中心、文字と文字との間隔に注意して書くことを伝える。 隣席同士で教科書・試し書き・まとめ書きを比較し合い、互いに練習の成果を認め、達成感をもたせる。 <p>【評】作品を通して、文字の大きさや組み立て方に関する「知識・技能」を評価する。</p>

【 備 考 】